

和歌山県特産農産物を活用した健康産業イノベーション推進地域

地域農産物を原料とする機能性素材開発と健康産業創出
ならびに県民の健康力向上に向けた基盤整備

参画機関(太字はプログラム実施機関)

産…和歌山県商工会議所連合会、
和歌山県農業協同組合連合会 ほか
学…**近畿大学**、**和歌山県立医科大学**、
和歌山大学 ほか
官…和歌山県、
わかやま産業振興財団
金…紀陽銀行

地域イノベーション戦略

地域におけるイノベーション戦略は、特産果樹類の保健機能成分の解明と効能検証、高付加価値な加工食品の開発などを進め、基盤産業の改革、健康産業の創出を目指すものです。同時に、県民の健康意識の向上と保健機能食品の適切な活用、消費事業育成を図るため、食・運動・健康に関わる人材の育成プログラムの開発と健康マネジメントシステムを構築し、県民の健康力を向上させ健康長寿社会の創出を目指します。



プロジェクトディレクター
前田 育克

略歴：元和歌山県工業技術センター副所長。元和歌山大学客員教授。大阪市立大学 博士(工学)。専門 高分子化学。

和歌山県には、地域資源を活かした事例として梅関連産業があります。この事例検証と新たな視点(保健機能成分活用、新規加工技術による高付加価値商品開発等)を活かす仕組み構築とその活用により梅とそれ以外の農産物を活かした健康産業を育成します。また疾病予防にむけた取組として、生活習慣病と地域特性の関連評価、シニアエクササイズ活用等の要素を活かす仕組み整備・地域密着型試行により健康寿命延伸による元気シニア社会創出を目指します。

事業の内容

【全体計画及び成果】

事業戦略に基づき、特産果樹の機能性研究ネットワークを構築し、梅ポリフェノールの新規な効果を見出すとともにその活用として先ず明らか食品を上市させました。

また、地域の強みと価値付与技術を活かす事業化ネットワーク体制の中から新たな果樹加工技術開発と事業化(下図)を推進し、生産者と食品企業を結ぶブリッジモデルとして特産果樹の新たな市場開拓の体制を作りました。

健康ビジネス創出に繋ぐ健康長寿社会創出ネットワークでは、

地域健康特性調査研究と健康推進リーダー育成を予定通り進めるとともに、それら研究等の成果を市町村の介護予防施策とその効果検証に活かす仕組みを企画・提案し、今後、モデル地域でシステムの実証を進めていきます。



青梅への過熱水蒸気加工処理



試作された梅スイーツ
(無塩、アルコールフリー)

【実施する支援メニュー】

1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積
(実施機関：近畿大学、和歌山県立医科大学)
4名の招聘研究者が果樹の機能成分解明と効能検証を進めています。
2. 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施(実施機関：和歌山県立医科大学、和歌山大学)
「コホート研究」による地域健康特性調査と高齢者の体力増進プログラムを進化させながら、健康推進リーダーの育成と健康長寿仕組みづくりを進めています。
3. 大学等の知のネットワークの構築
(実施機関：わかやま産業振興財団)
特産果樹の機能性研究ネットワークに加え、地域資源を活かした健康産業創出に向けた地域連携をつくり事業を推進しています。

地域イノベ事業の地域連携(ネットワーク構築)と狙い

